

LIBRARY

NO. 3 H25 年 十月号

津田沼高校図書委員会

いよいよ読書の秋がやってきました。そこでこの機会に私たちの勧める本を紹介したいと思います。

秋輝祭が終わり疲れのたまっている方も多いと思います。

私たちが勧める本はそんな疲れも吹き飛ばす魅力を持っているので、ぜひ手にとってみてください。

図書委員広報部

まさかジープで来るとは

作者:せきしろ 又吉直樹

「弱火にしたいのに消えた」
「切りの良い所でやめなかった報い」

無駄にセンチメンタル。無駄にノスタルジック。何かあったわけじゃないけど、たぶん何事もなかったからこそそこに捕らわれてしまう…
声には出さない心のつぶやき。珠玉の数々。くすっと笑えるものや、ほのかに哀愁漂うものも。僅か数文字という短さにも拘わらず、強い「あるある」感に襲われる、そんな詩集です。



キノの旅

作者：時雨沢恵一

旅人のキノが相棒でモトラドのエルメスと旅をしながら、様々な国を巡るという短編、1話完結型のファンタジーです。

毎話、独特の制度や技術、価値観を持つ国家や国民と関わるというストーリーで、毎回新しい境地とも思える視点をあたえてくれます。

——正しいと思っていたこと、当たり前だと思っていたこと。

それらが実は正しくなかったり、実はとんでもなく常識外れなことだったり、実はこういう裏付け（歴史的事実）があったから現在のような状況に現実はなったのだと、考えさせられることの多い本です。



流星の絆

作者：東野圭吾

両親を殺された三人兄弟は偶然、犯人らしき人物を見つけます。

そこで彼らは…

一見とても厚い本ですが、あっという間に読み切ってしまうでしょう。

ジャンルとしては推理小説にあたり、先の読めない展開が魅力的です。

最後まで読み終わってから改めてタイトルを見ると、

感動があるかもしれません。

とある飛空士への追憶

作者：犬村小六

二国間戦争のさなか、名もなき飛空士 狩乃シャルルは類まれな操縦技術を見込まれ、次期皇妃ファナ・デル・モラルをその婚約者カルロ皇子のもとに水上偵察機で送り届ける極秘任務を命じられる…

身分違いの恋と一人の少女を守るための空戦が描かれており、著者によると『ローマの休日』と『天空の城ラピュタ』の切なさや爽やかさを意識しながら執筆されているようです。



ムギと王様

作者：エリナー・ファージョン

作者は本が詰まった「本の小部屋」で幼少期を過ごし、多くの本の不思議な世界と身近に暮らして、この作品を生み出しました。

独特の雰囲気や好みに合えば、とてもおもしろい作品で童話のような不思議さと、ロマンチックさを兼ね備えています。

気になる方は、ぜひとも読んでみて下さい。

